言語聴覚士の地域ケア個別会議への参加をお願いします

○地域ケア個別会議とは

国がすすめる地域包括ケアシステム構築に向け、地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場などへのリハビリ専門職の関わりを促進しています。市町村が開催する「介護予防のための地域ケア個別会議」では、提示された個別の事例について薬剤師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門職がアセスメントを行い、どのような支援をしていくかを考え、助言を行うことによりケアマネージメントの質の向上を図り、自立への支援を後押ししています。

○県士会での取り組み

県士会では令和２年度より新たに地域包括ケア推進部が編成され、県内 30 市町村を 37 ブロック（新潟市８区含む）に分け、各ブロックの代表者を中心として、それぞれで開催される介護予防のための地域ケア個別会議への助言者派遣調整、介護予防事業に関わる依頼に対応すべく活動をしています。令和３年度では、上越市、十日町市、南魚沼市、魚沼市、出雲崎町、小千谷市、燕市、三条市、佐渡市、新潟市、加茂市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、新発田市、胎内市、村上市、粟島浦村の 18 市町村で年間 168 件の開催が予定されています。他にも茶の間やサロン等の通いの場や健康教室での講師依頼など、ST の活躍の場がそれぞれの地域で広がりをみせつつあります。

○報酬費・交通費の支給あり

地域ケア個別会議へ助言者として参加すると、２時間程の活動に対し 5,000 円以上の報酬費と交通費が支給されています。

○他団体とも協力しています

地域包括ケア推進部では、県理学療法士会、県作業療法士会、県言語聴覚士会で構成される「新潟県リハビリテーション専門職協議会」や上記３団体と県薬剤師会、県栄養士会、県歯科衛生士会で構成される「新潟県地域包括ケア支援専門職協議会」の活動にも参画し、他団体と協同して活動を行いながら、地域包括ケアシステム構築に向けた支援を行っています。

○研修会参加へのお願い

地域での活動に対しては、まだまだ人手が足りません。会員の皆様にも、お勤め先の地域での介護予防・重度化予防の取り組みにぜひともお力添え下さい。

助言者として活躍するには、助言者育成研修への参加と地域ケア個別会議の見学が必要となります。まずは研修へご参加頂き、この取り組みへのご理解とご協力をお願い致します。

詳しくは地域包括ケア推進部または各ブロック代表者までお問い合わせください。

（一社）新潟県言語聴覚士会 地域包括ケア推進部
部長：本田俊一（s-honda@kido-hp.com）
副部長：斎藤　望（nozomi10@circus.ocn.ne.jp）
副部長：阿部夕織（reha@iwamurohp.jp）
【　　】ブロック
代表者：